



太古の浪漫そのまま。



広野町の東側の丘陵地には、化石を産出する地は桜沢・脇内・ニッ沼など随所にあります。地球が太陽系の一員として46億年前に誕生したわけですが、恐竜が現れたのは今から2億数千年前とも言われ、植物食・肉食の恐竜が生存しました。これらと近縁の海生爬虫類（魚竜・首長竜など）や空飛ぶ翼竜も中生代動物界に共に栄えましたが、今から約6～5000万年の中生代末に、アンモナイト等も一緒に絶滅してしまいました。広野町で発見された陸生の化石は、後期白亜紀のアンモナイトや二枚貝のイノセラムス等の海生化石と共に、礫岩層を形成していたことから、恐竜の遺骸は流れ流れて三角州のような浅い海底に堆積し、約8000万年前のこの辺りの渚に堆積したと推定されます。



昭和61年、桜沢地内からカモノハシリュウの1枚の歯化石が発見されました。その後複数の植物食・肉食恐竜の化石やワニ類、アンモナイトなどの海生の化石が採集され、植物食恐竜にヒロノリュウ、肉食恐竜にはフタバリュウと名付けられています。

HIRONO
EARTH